

9月 は 認知症 月間 です



「知る」から「行動」へ

～認知症があっても安心なまちをめざして～

問 長寿いきがい課(1階) ☎561-2372、☎561-2480

9月21日(月)は「認知症の日」です。高齢者だけでなく、若い人も「若年性認知症」になることがあり、決して他人事ではありません。
市では、これまで約20,000人が「認知症サポーター養成講座」を受け、認知症について学んできました。一方で「学んだことをどう生かせばよいか分からない」という人も少なくありません。安心して暮らすためには、特別な支援だけでなく、日常のささやかな関わりが大切です。できることから行動してみませんか。

私にできるはじめての一步

1

あいさつをする

「おはようございます」「こんにちは」などのあいさつは、顔見知りを増やし、地域の安心につながります。

2

困っている人に声を掛ける

道に迷っているように見える人、不安そうな様子の人に声を掛けることが助けになることがあります。

3

ゆっくり話を聞く

相手の話を途中でさえぎらずに聞くことは、安心感につながります。

4

学んだことを話してみる

家族や友人に「認知症についてこんな話を聞いたよ」と話すことで、認知症への理解が広がります。

一人一人の小さな行動の積み重ねが、認知症があっても安心して暮らすことのできるまち草津をつくっていきます。

地域に広げるもう一步

認知症について学んだことを、地域で伝え広げていく人たちがいます。認知症サポーター養成講座の講師として活動している認知症キャラバン・メイトです。「認知症についてもっと学びたい」「地域のために役に立ちたい」という人にとって、次の一步となる取り組みです。市では16人の認知症キャラバン・メイトが活動しています。あなたも一緒にキャラバン・メイトとして活動しませんか。



Aさん

同じ地域の人に誘われて活動を始めました。自分の勉強にもなり、講座を通じて知り合いが増えました。



Bさん

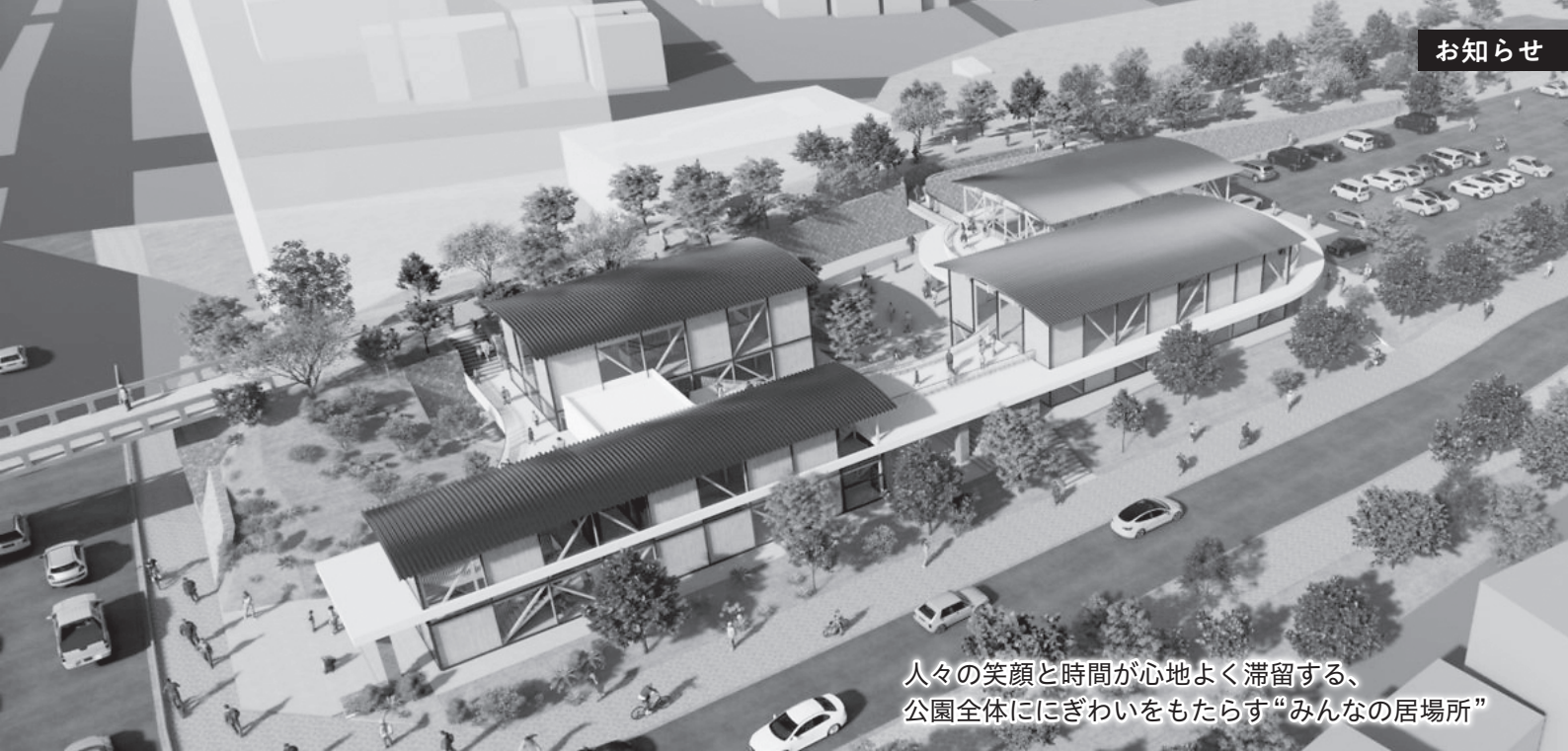
認知症カフェのメンバーに誘われて活動を始めました。少しずつ活動が広がり、町内会で認知症サポーター養成講座を開催できました。

認知症キャラバン・メイト養成講座

認知症サポーター養成講座の講師として活動する認知症キャラバン・メイトの養成講座を開催します。
📅 10月14日(水) 9:45～16:35 (9:30～受付)
📍 市役所 2階 特大会議室
👤 市内在住で、1日を通して受講できる人、市内で認知症サポーター養成講座をボランティアとして積極的に開催できる人
👤 40人(先着順) 申込 9月30日(水)まで

認知症サポーター養成講座

📅 10月30日(金) 14:00～15:30 (13:30～受付)
📍 市役所 8階 大会議室
👤 市内在住か通勤・通学している人
👤 50人(先着順)
📅 9月7日(月)～10月16日(金)



人々の笑顔と時間が心地よく滞留する、公園全体ににぎわいをもたらす“みんなの居場所”



草津川跡地(区間6)の Park-PFI 事業者が決定

区間6民間事業者誘致エリアでは、民間事業者により、国産木材を使ったぬくもりのある全天候型室内遊び場や、遊びの合間でも気軽に楽しめる飲食施設、滞留空間、遊び場、イベントスペースとして多機能な利用ができる屋根付広場などを整備します。今回、整備・運営する事業者が決定しました。
問 草津川跡地整備課(5階) ☎561-6867、☎561-2487

※施設の提案概要は、事業者の主な提案内容であり、今後の協議などにより変更になることがあります



●設置等予定者
草津川跡地あそびば計画共同体

- 代表法人 株式会社澤村
- 構成法人 飛騨五木株式会社
株式会社井上工務店

●今後の予定

令和8年度	契約締結
令和9年度	設計・建設
令和10年度	供用開始

※事業者決定時点での予定であり、変更となる場合があります



全天候型室内遊び場



飲食施設



屋根付広場

Park-PFIとは、公募で選ばれた民間事業者が、行政が所有・運営する公園内にレストランやカフェなどを整備・運営し、その収益を公共施設の整備に還元し、園路や広場などの整備・改修も合わせて行う制度です。